

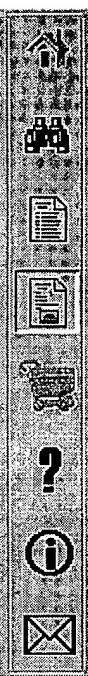


JP2001187011

Biblio

Page 1

Drawing

esp@cenet

SIMPLE GLOVE FOR PREVENTING HAND FROM CHAPPING

Patent Number: JP2001187011

Publication date: 2001-07-10

Inventor(s): OZAWA KAZUMI; OZAWA YASUAKI

Applicant(s): OZAWA KAZUMI

Requested Patent: JP2001187011

Application Number: JP19990377046 19991227

Priority Number(s):

IPC Classification: A47L13/18; A41D19/00

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a glove capable of omitting simultaneous use of a vinyl glove and a sponge and easily using the glove by integrally forming the vinyl glove and the sponge and solving such a problem that hands are chapped due to water or a cleanser.

SOLUTION: A thin sponge is provided at the finger side (1) of the palm in a vinyl glove, and a thick sponge is provided at the fingertips (2) and the central part (4) of the palm and in between (3) the thumb and the forefinger. With regard to the rear side of the glove, a nonwoven fabric of coarse nylon raw material is laid in the fingers (5) and a thin sponge is laid on the whole part from the roots of fingers to the rear side (6) of the fingers.

Data supplied from the **esp@cenet** database - I2

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-187011

(P2001-187011A)

(43)公開日 平成13年7月10日(2001.7.10)

(51)Int.Cl.⁷

A 47 L 13/18

A 41 D 19/00

識別記号

F I

テマコード(参考)

A 47 L 13/18

3 B 0 3 3

A 41 D 19/00

P 3 B 0 7 4

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全3頁)

(21)出願番号

特願平11-377046

(22)出願日

平成11年12月27日(1999.12.27)

(71)出願人 598001559

小澤 和美

山梨県甲府市武田3-4-24

(72)発明者 小澤 和美

山梨県甲府市武田3-4-24

(72)発明者 小澤 康明

山梨県甲府市武田3-4-24

Fターム(参考) 3B033 AA29 AA30 AB03 AB06 AB20

AC01 AC06

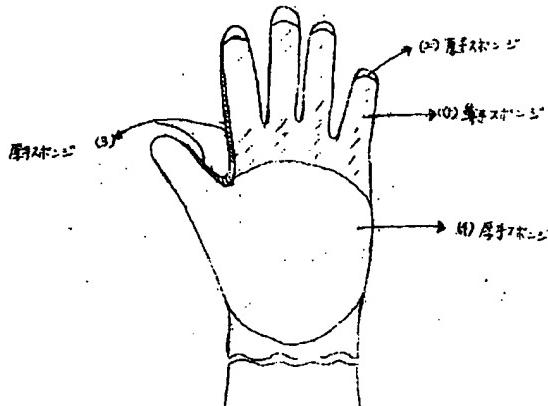
3B074 AA02 AB01 AC01 BB01 DD01

(54)【発明の名称】 手荒れ防止簡単手袋

(57)【要約】

〔課題〕 ビニール手袋とスポンジを併用するということを省き、ビニール手袋とスポンジを一体化させることにより、手軽に使用することができる。また、水や洗剤により、手が荒れるという問題点を解決することを目的としています。

〔解決の手段〕ビニール手袋において、薄手のスポンジを掌の指の部分(1)に設け、厚手のスポンジを指先(2)と掌の中央部(4)、親指と人指し指の間(3)に設ける。手袋の裏面については、指の部分(5)に荒い素材のナイロン不織布を設け、指の根本から裏側(6)にかけ、全体に薄手のスポンジを設けた。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ビニール手袋において、薄手のスポンジを掌の指の部分（1）に設け、厚手のスポンジを、作業量が多いことから、指先（2）と掌の中央部（4）、親指と人指し指の間（3）に設ける。手袋の裏面については、指の部分（5）に荒い素材のナイロン不織布を設け、指の根本から裏側（6）にかけ、全体に薄手のスポンジを設けた手荒れ防止簡単手袋

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明はビニール手袋とスポンジを付けた手荒れ防止用簡単手袋の日常用品に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、家庭用ビニール手袋、スポンジ、コップ洗い、ナイロンたわしなどを併用して使用していくので、手軽に作業できなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】この発明は、上記した通常のビニール手袋とスポンジを併用するということを省き、ビニール手袋とスポンジを一体化させることにより、手軽に使用することができる。また、水や洗剤により、手が荒れるという問題点を解決することを目的としています。

【0004】

【課題を解決するための手段】ビニール手袋において、薄手のスポンジを掌の指の部分（1）に設け、厚手のスポンジを、作業量が多いことから、指先（2）と掌の中央部（4）、親指と人指し指の間（3）に設ける。手袋の裏面については、指の部分（5）に荒い素材のナイロン不織布を設け、指の根本から裏側（6）にかけ、全体に薄手のスポンジを設けた手荒れ防止簡単手袋

【0005】

【発明の実態の形態】以下、本発明の実態の形態について説明する。

（イ）ビニール手袋において、薄手のスポンジを掌の指の部分（1）に設け、厚手のスポンジを設ける。

（ロ）厚手のスポンジを、作業量が多いことから、指先（2）と掌の中央部（4）、親指と人指し指の間（3）に設ける。

（ハ）手袋の裏面については、指の部分（5）に荒い素材のナイロン不織布を設ける。

（ニ）指の根本から裏側（6）にかけ、全体に薄手のスポンジを設ける。

本発明は、以上の構造で、これを使用するときは、水、洗剤による手荒れを防ぎ、手軽に用途に合わせて使用する。

【0006】

【発明の効果】水、洗剤による手荒れを防止し、ビニール手袋とスポンジを一体化することにより、食器洗い、風呂洗い、洗車、または、業務用にと幅広く、手軽に使用できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明は、掌表面図である。

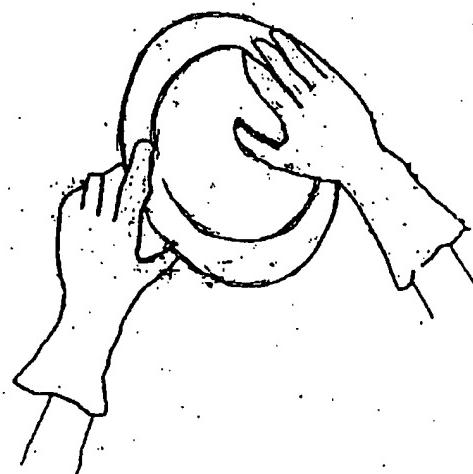
【図2】本発明は、掌裏面図である。

【図3】本発明は、使用状態の図である。

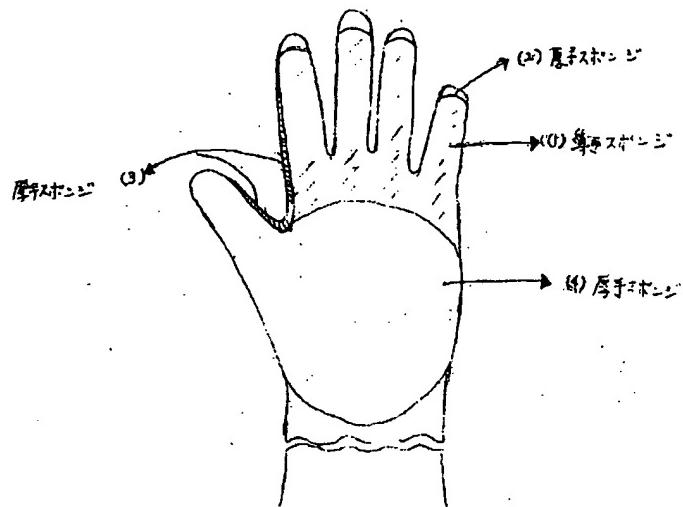
【符号の説明】

- | | |
|---|-----------|
| 1 | 薄手のスポンジ |
| 2 | 厚手のスポンジ |
| 3 | 厚手のスポンジ |
| 4 | 厚手のスポンジ |
| 5 | 荒いナイロン不織布 |
| 6 | 薄手のスポンジ |

【図3】



【図1】



【図2】

